

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Basic Conversation II	(NCR14T)
講義名 (コード)	Basic Conversation II	(NCR14TX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	過去の出来事や経験について英語で伝え、相手の話質問や感想を返すなど、会話を継続できる力を身につけることを目標とする。
全体の内容と概要	Unit 3 を中心に、過去形を用いて体験や出来事を説明し、実践的な会話練習を通して英会話力の向上を図る。
授業時間外の学修	授業内容の復習を行い、自分の経験を英語で表現する練習やリスニング練習を継続すること。
履修上の注意事項等	春学期の内容を復習したうえで履修すること。ペアワークや会話練習には積極的に参加すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	週末の出来事について簡単に話せるようになる	ガイダンス、Unit3導入
2	あいさつの後に近況を伝えられるようになる	Unit3 Conversation Stages
3	過去形を使って出来事を説明できるようになる	Unit3 Grammar Focus (Simple past tense)
4	When / How の質問を使って相手に質問できるようになる	Unit3 Grammar Focus (Wh- questions)
5	/b/ と /v/, /w/ の音を意識して発音できるようになる	Unit3 Pronunciation Tips
6	会話の流れを聞いて要点を理解できるようになる	Unit3 Listening
7	出来事を簡単にまとめて話せるようになる	Unit3 Putting It All Together
8	自分の意見を短い英語で伝えられるようになる	意見表現の練習 (補足教材)
9	相手の話を聞いて質問や感想を返せるようになる	ペア・グループ会話練習
10	過去の出来事を順序立てて話せるようになる	ストーリーテリング練習
11	日常的な話題について会話を続けられるようになる	ロールプレイ演習
12	伝えたい内容を整理して話せるようになる	総合会話練習
13	学期内容を使って自然な会話ができるようになる	期末試験対策・復習
14	学期内容を理解し、運用できるようになる	期末テスト
15	自分の学習成果と課題を振り返ることができるようになる	テストフィードバック・振り返り

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Encounters Book 1 (English Edition)
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Writing II		(NCR14V)
講義名 (コード)	Writing II		(NCR14VX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For students to learn to write well and in ways that are appropriate for the setting.
全体の内容と概要	Using the text as a work book, listening to lectures about writing, and discussion times to further understanding.
授業時間外の学修	I may give them homework if it seems necessary, but as much as possible we will try to complete the work in class.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times they will be allowed to use their smart phones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Learning to organize information	Introductions, Orientation and Chapter 1 pp.1-8
2	Learning to research a topic into a paragraph	Grammar Hints and Writing Assignment Chapter 1 pp.8-9 & 255
3	Learning to indemnify parts of a paragraph	Presenting Information & Chapter 2 Understanding Paragraphs pp.11-13
4	Learning topic sentence techniques	Topic Sentence Guidelines, Chapter 2 pp.14-15
5	Learning to have supporting sentences agree with the topic sentence	Topic Sentence and Supporting Sentences Agreement, Chapter 2 pp.16-18
6	Learning how to conclude your paragraph smoothly	Supporting Sentences Part 2 and Concluding Sentence, Chapter 2 pp.18-20 & Paragraph Assignment Part #1
7	How to organize personal information	Paragraph Assignment, Part #2
8	Learning to write your opinions into a paragraph correctly	Paragraph Assignment, Part #3
9	How to organize paragraphs into essay format	Presenting Paragraphs in a Essay Formate & New Topic Paragraph Assignment
10	Paragraph Practice	Presentation of Paragraph and Practice, Chapter 2 pp.30
11	Learning to use time signal words in a paragraph	Organizing Information by Time Order, Chapter 3 pp.32-34 & Description Words for People
12	How to use prepositions in a time sequence paragraph	Grammar for Time Sequence Description, Chapter 3 pp.35-37
13	Organizing time sequence information into a paragraph	Time Sequence Paragraph Exercises, Chapter 3 pp.38-46 & Test Review
14	Final exam.	Test
15	Test Review	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Ready to Write 2
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Reading & Vocabulary II		(NCR15B)
講義名 (コード)	Reading & Vocabulary II		(NCR15BX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	木村 みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	様々な題材の記事を読み、理解し、それについて意見を言えるようにする。
全体の内容と概要	文法を学びながら英文を読み、新しい単語や熟語を使って自分の意見を言う。
授業時間外の学修	単語・熟語練習
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Coffee and healthy life を読み理解できる。	自分の好きな飲み物について英語で発表し、本文を読む。
2	Coffee and healthy life を読み理解できる。	本文が正確に理解されているか確認。新しい単語・熟語を使って作文。
3	Pyramids of Egyptを読み理解できる。	今までに行ったことのある素晴らしい遺跡等について話し合い 本文を読む。
4	Pyramids of Egyptを読み理解できる。	本文が正確に理解されているか確認。新しい単語・熟語を使って作文。
5	Days of Showing your Loveを読んで理解できる。	valentine's Day の経験について話し、本文を読む。
6	Days of Showing your Loveを読んで理解できる。	本文が正確に理解されているか確認。新しい単語・熟語を使って作文。
7	Unique Careers を読んで理解できる	将来就きたい仕事について英語で話し、本文を読む。
8	Unique Careers を読んで理解できる	本文が正確に理解されているか確認。新しい単語・熟語を使って作文。
9	The Story of Medusaを読んで理解できる	今までに読んだ好きな小説について話し合い、本文を読む。
10	The Story of Medusaを読んで理解できる	本文が正確に理解されているか確認。新しい単語・熟語を使って作文。
11	Genetic Modification を読んで理解できる。	新しい薬の種類について知っていることを話し、本文を読む。
12	Genetic Modification を読んで理解できる。	本文が正確に理解されているか確認。新しい単語・熟語を使って作文。
13	Review	テスト対策
14	test	
15	FB	まとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Reading Success (SEIBIDO)
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Grammer II	(NCR15D)
講義名 (コード)	Grammar II	(NCR15DX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	文法を理解することにより読解や会話での表現の幅を広げる。
全体の内容と概要	文章の構成、品詞の役割を学び、練習問題や会話練習を通して実際に使えるようにする。
授業時間外の学修	復習として練習問題を解く。また、音読練習をしてスムーズに口からできるようにする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	不定詞を理解できるようになる	不定詞の使い方の違いを理解し、会話で使えるように練習する。
2	不定詞を理解できるようになる	不定詞の使い方の違いを理解し、会話で使えるように練習する。
3	動名詞を理解できるようになる	動名詞の使い方の違いを理解し、会話で使えるように練習する。
4	動名詞を理解できるようになる	動名詞の使い方の違いを理解し、会話で使えるように練習する。
5	動名詞と不定詞の違いを理解できるようになる	不定詞・動名詞を理解し、会話で使えるように練習する。
6	分詞を理解できるようになる	分詞の使い方を理解し、会話で使えるように練習する。
7	分詞を理解できるようになる	分詞の使い方を理解し、会話で使えるように練習する。
8	比較を理解できるようになる	比較の使い方を理解し、会話で使えるように練習する。
9	関係詞を理解できるようになる	関係詞の使い方を理解し、会話で使えるように練習する。
10	関係詞を理解できるようになる	関係詞の使い方を理解し、会話で使えるように練習する。
11	仮定法を理解できるようになる	仮定法の使い方を理解し、会話で使えるように練習する。
12	仮定法を理解できるようになる	仮定法の使い方を理解し、会話で使えるように練習する。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Evergreen English Grammar 23Lessons
参考文献・資料等	Evergreen
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Pronunciation Speaking II		(NCR15F)
講義名 (コード)	Pronunciation Speaking II		(NCR15FX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野 恵	時間数	30
成績評価教員	高野 恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	To gain as much practical experience as possible speaking English while focusing on proper intonation and pronunciation.
全体の内容と概要	Textbook speech prompts, pronunciation drills, and group discussion.
授業時間外の学修	AI speaking partner assignments.
履修上の注意事項等	We will discuss rules regarding AI in class.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Introduction	Introduction of class, expectations, and speaking assessment. Review of basic conversation skills.
2	Can talk about present habits and background.	Chapter 1. Review of present tenses. Speaking about daily life, habits, and personal background.
3	Can talk about past experiences.	Chapter 2. Past tense review. Conversations about trips, experiences, and past events.
4	Can discuss future plans and intentions.	Chapter 3. Future forms. Pair work: talking about plans, making requests, and phone conversations.
5	Can talk about life experiences.	Chapter 4. Present perfect. Speaking about experiences and recommendations.
6	Can discuss duration and ongoing situations.	Chapter 5. Present perfect vs. present/past. Activities about health, life events, and experiences.
7	Can describe ongoing activities over time.	Chapter 6. Present perfect continuous. Speaking about activities, work, and life situations.
8	Can talk about preferences and habits.	Chapter 7. Gerunds and infinitives. Discussions about hobbies, skills, and decisions.
9	Can describe past events with detail.	Chapter 8. Past perfect. Storytelling and explaining sequences of events.
10	Can use phrasal verbs in conversation.	Chapter 9. Two-word verbs. Role plays: daily situations, obligations, and communication.
11	Can connect ideas in speaking.	Chapter 10. Connectors (and, but, so, etc.). Practice expressing opinions and giving reasons.
12	Can use communication strategies effectively.	"How to Say It!" Practice: asking for information, reacting, making requests, giving suggestions.
13	Can improve pronunciation and fluency.	Pronunciation focus: reduced forms, linking sounds, stress, and intonation practice.
14	Exam Prep.	Review of all speaking functions, grammar, and pronunciation points. Mock interviews and role plays.
15	Exam / Feedback.	Final speaking test (interview + role play). Feedback and Q&A.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Side by Side 3
参考文献・資料等	Worksheets and audio files
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	スピーチⅡ	(NCR15H)
講義名 (コード)	スピーチⅡ	(NCR15HX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 2
授業担当者	PIERCE WILLIAM TROY	時間数 30
成績評価教員	PIERCE WILLIAM TROY	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	For the students to be able to give a successful speech on a variety of subjects. They will learn how to gather information on the topic, organize into a speech form and deliver it in a professional way.
全体の内容と概要	Using references from various textbooks and handouts on technics to a speech, lectures from the teacher, discussion time and provided time in class for research needed to do their speeches.
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework but they will have the option of doing research out of class in improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times, they will be allowed to use their smartphones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Demonstrative Speeches	Introduction to demonstrative speaking.
2	Demonstrative Speech One	Research and pre-writing for demonstrative speaking. Example videos of demonstrative speaking.
3	Demonstrative Speech Two	Writing and practice for demonstrative speaking.
4	Demonstrative Speech Three	Presentation of demonstrative speeches.
5	Sales Presentations	Introduction to sales speaking.
6	Group Presentations	Introduction to presenting in a group.
7	Group Sales One	Brainstorm, research and pre-write for a group sales pitch.
8	Group Sales Two	Organize and write group sales pitches.
9	Group Sales Three	Practice group speaking transitions and delivery.
10	Group Sales Presentations	Deliver group sales presentations.
11	Impromptu Speeches	Introduction to impromptu speaking.
12	Impromptu Speaking	Impromptu speech practice. Prepare for final exams.
13	Final Exam Prep	Prepare for final exam presentations.
14	Final Exams	Deliver final exam presentations.
15	Feedback Week	Feedback for exam and class.

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	No textbook
参考文献・資料等	Powerpoint, worksheets, videos will be provided. Students will need a notebook for class notes.
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	通訳入門Ⅱ		(NCR15J)
講義名 (コード)	通訳入門Ⅱ		(NCR15JX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	松尾 早苗	時間数	30
成績評価教員	松尾 早苗	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	基礎的な英語の逐次通訳ができるようになる
全体の内容と概要	通訳に必要な英語力をテキストで学び演習を繰り返し行う
授業時間外の学修	ヒアリング技術を高めるため youtubeやテレビの英語チャンネルなどで1日10分必ず英語の番組を聴く
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	前期の内容が身についているかを確認	前期内容総復習
2	文化紹介通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
3	簡単プレゼン通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
4	簡単インタビュー通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
5	ビジネス挨拶通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
6	会社紹介通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
7	簡単会議通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
8	簡単会議通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
9	簡単商談通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
10	簡単ビジネス通訳ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
11	簡単リレーができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
12	通訳発表会ができるようになる (E→J)	シャドーイング～メモ取り練習～テキスト～演習
13	テスト前総復習	後期内容総復習
14	後期テスト	テスト
15	テスト解説	解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	どンドン話すための瞬間英作文トレーニング
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	中国語入門Ⅱ		(NCR15L)
講義名 (コード)	中国語入門Ⅱ		(NCR15LX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	姚 海玲	時間数	30
成績評価教員	姚 海玲	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	就職時や中国人との交流、または旅行などでコミュニケーションができるようになる
全体の内容と概要	中国語のテレビや映画の鑑賞を授業に取り入れる
授業時間外の学修	校内の中国人留学生との交流を深める
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	第1課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
2	第2課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
3	第3課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
4	第4課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
5	第5課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
6	第6課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
7	第7課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
8	第8課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
9	第9課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
10	第10課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
11	第11課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
12	第12課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
13	第13課の本文、新出語句、ポイントを理解し、ドリルを解くことができる	単語、文法の確認、課題文の翻訳。ドリルによる練習問題
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テスト

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	表現する中国語
参考文献・資料等	初級会話テキスト
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	芸術表現Ⅱ	(NCR15N)
講義名 (コード)	芸術表現Ⅱ	(NCR15NX)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数 1
授業担当者	小笠原 あやの	時間数 30
成績評価教員	小笠原 あやの	講義期間 秋学期
実務者教員	はい	履修区分 選択
実務者教員特記欄	空気猫デザイン研究所 代表	授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	身近な素材やテーマから、自分なりに発想し工夫して「生活の中の芸術」を生み出す力を育む。身の回りにある「芸術」に気が付き、生活を豊かにする感性を身につける。
全体の内容と概要	ワークショップ型の作品づくり。グループワークもあり。自分の作品を発表したり、自分以外の作品を鑑賞し、感想を述べるなど、クリエイティブなコミュニケーションを展開する。
授業時間外の学修	あり (状況による)
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	絵や工作が得意か否か、上手いか否かにかかわらず、工夫して前向きに表現しようとする姿勢を重視する。		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

--	--	--

回	到達目標	授業内容
1	豊富な色や形のタイルを選び、自分好みの作品を作ることができる。	タイルクラフトでオリジナルコースターづくり
2	キャラクターの役割やマーケティングについても考えることができる。	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう①
3	〃	身近な商品のオリジナルキャラクターを考えよう②
4	日本古来の風物詩に触れて、自由な塗り絵を楽しむことができる。	狐のお面に色をつけよう
5	身近にある「フォント」を観察し、変化させることができる。	オリジナルフォントづくり
6	自分の成長や内面の変化に気がつくことができる。	今、一番好きなものをデッサンする①
7	〃	今、一番好きなものをデッサンする②
8	削って癒される不思議な体験ができる。	スクラッチアート体験
9	素材を楽しく組み合わせ、気持ちを伝えるデザインを考えることができる。	クリスマスカードづくり①
10	〃	クリスマスカードづくり②
11	たった1本の線が組み合わせたり、想像もつかない作品になる体験ができる。	1本の線から生まれるアート体験
12	テーマを意識して写真を撮ることで、表現の幅を広げることができる。	街に出て写真を撮ろう。～冬の風景～
13	1年間のまとめとして、今まで体験した手法を用いて、記念に残る作品を作ることができる。	オリジナル時計づくり①
14	〃	オリジナル時計づくり②
15	〃	オリジナル時計づくり③

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	英語資格対策Ⅱ	(NKT16H)
講義名 (コード)	英語資格対策ⅡA	(NKT16HA)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース / 観光ホスピタリティコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検準2級以上に合格する。
全体の内容と概要	準2級取得のための対策と問題に取り組む。
授業時間外の学修	「でる順パス単」から毎週50単語ずつ覚えてくる。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	単語601~650 準2級の過去問題に挑戦する	自分の現在の實力を知り、後期に力を入れるべき箇所を知る。
2	単語651~700 / listeningの特徴 がわかるようになる	英検listeningの特徴を知り、問題に取り組む。
3	単語701~750/聞き取れないと ころが聞けるようになる	過去問のlisteningに挑戦し聴きとれない部分を重点的に繰り返し聞く。
4	単語751~800 準2級の過去問題に挑戦する	準2級の過去問題集からの長文を解き、自分の弱点を知る。
5	単語 801~850 / 長文の読み方や出 題傾向がわかるようになる	英検長文の特徴を知り、時間内に読む練習をする。
6	単語851~900 準2級の過去問題に挑戦する	後期最初の授業時と比較し、自分の進み具合を知り勉強法を考える。
7	単語901~950 / 作文の書き方が 理解できるようになる 1	文章を書く際の構成を学ぶ。
8	単語951~1000 / 作文の書き方 が理解できるようになる 2	与えられたトピックを使って自分の意見を書いてみる。
9	単語1001~1050 準2級の過去問題に挑戦する	listening・穴埋め・長文・作文を時間内に行う。
10	Speakingのテストの構成を理解 することができるようになる	Speakingのテストの構成を理解し、どのように受け答えするかを学ぶ。
11	面接の練習をし、自信をもって受 け答えができるようになる	面接の練習をする。
12	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
13	総復習	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	英検準2級でる順パス単、DAILY3週間 英検準2級 集中ゼミ 7訂版
参考文献・資料等	Evergreen English Grammar 23Lessons
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	英語資格対策Ⅱ	(NKT16H)
講義名 (コード)	英語資格対策ⅡB	(NKT16HB)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース / 観光ホスピタリティコース	単位数 2
授業担当者	木村 みゆき	時間数 30
成績評価教員	木村 みゆき	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	英検 2 級・準 1 級を取得する
全体の内容と概要	各級に必要な文法・語彙・熟語を習得し、それぞれの級の練習問題に取り組む
授業時間外の学修	受験する級の語彙を増やし、問題集に取り組む
履修上の注意事項等	英検の試験日に合わせた対策をする

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率 X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	現在完了・過去完了を理解できる	現在完了と過去完了の違いを学習する・長文読解
2	受動態を理解できる	現在。過去・未来・助動詞が入った受動態を使えるようにする・穴埋め問題
3	分詞の基本を理解できる	現在分詞・過去分詞を使った後置修飾を学習・長文読解
4	分詞構文を理解できる	分詞構文の構造を学び文章を作る・穴埋め問題
5	2級・準1級の熟語を覚える①	熟語の練習問題に挑戦・長文読解
6	2級・準1級の熟語を覚える②	熟語の穴埋め問題に挑戦・長文読解
7	作文の書き方を理解できる	作文の書き方を学習後 過去問からトピックを選び実践練習
8	リスニング問題の注意点を理解できる ①	友人との会話・ビジネス・接客時の受け答え練習
9	リスニング問題の注意点を理解できる ②	電話・説明文・アナウンスで使われるフレーズ・表現を学ぶ
10	熟語の復習テスト	熟語の穴埋めテストをして期末試験に備える・長文読解
11	各級の過去問題を時間内で解ける	決められた時間内で解答できるよう時間配分に注意しながら問題を解く
12	各級の過去問題を時間内で解ける	決められた時間内で解答できるよう時間配分に注意しながら問題を解く
13	復習	テスト対策
14	テスト	
15	FB	まとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	英検2級集中ゼミ 2級出る順パス 旺文社
参考文献・資料等	英検2級過去6回問題集・英検準1級過去6回問題集・2級出る順パス
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	異文化理解Ⅱ		(NKT16L)
講義名 (コード)	異文化理解Ⅱ A		(NKT16LA)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	姚 海玲	時間数	30
成績評価教員	姚 海玲	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	さまざまな国の文化・考え方を学んでお互いに教えあったり認め合うことができるようにする。
全体の内容と概要	各国ごとの冠婚葬祭・ジェスチャー・社会問題などのテーマについて意見交換や発表などをする。そうすることでお互いの文化の違いを教えあい、認め合うことができるようにする。
授業時間外の学修	日頃からいろいろな国の学生たちと交流を持ちましょう。
履修上の注意事項等	発表が多いので事前準備をしっかりと行う事が重要です。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	異文化を理解する目的を改めて知る	それぞれの学科の学習目標を提示し、異文化を理解することの必要性、異文化理解できていない場合どんなことがおきるかなども含めて学習する
2	異文化摩擦について理解できる	異文化摩擦の例を示したり、学生間で異文化摩擦の体験などもシェアしながら異文化摩擦とはということについて学習していく。
3	自分をふりかえることで、コミュニケーションがとりやすくなる方法を知る	グループを作りジョハリの窓、学習スタイル、対立管理スタイル、異文化対応力について自分を数値的に理解する
4	非言語コミュニケーションやパラ言語について理解し考察する	アイコンタクトの意味と受け取り方、表情が与える誤解、ジェスチャー、パーソナルスペース、時間などについてクラス内で意見を交換する。
5	様々な国での催事を知ることによってその国の文化を理解することができる	学生を国ごとのグループに分け、その国の催事について発表をするための準備をする
6	様々な国での催事を知ることによってその国の文化を理解することができる	催事についての発表
7	様々な国の生活についてわかるようになる	様々な国の人々の生活をビデオでみる。(家、街中の様子、仕事、学校の様子、休日の過ごし方など) 各自興味がある国について調べてまとめる。
8	様々な国の生活についてわかるようになる	クラスメートに知ってもらいたい自分の国での生活の様子を調べてまとめる。
9	様々な国の生活についてわかるようになる	自国の生活について国別に分かれて発表する
10	世界の衣食住の歴史について知ることができる	日本の食文化の歴史の紹介と世界の様々な国の食についてビデオを見て、自分の国と比べてみる
11	世界の衣食住の歴史について知ることができる	自国の衣食住の歴史について調べ、まとめる
12	世界の衣食住の歴史について知ることができる	衣食住発表準備
13	まとめと解説	期末テスト(衣食住の発表)
14	まとめと解説	期末テスト(衣食住の発表)
15	まとめと解説	今までの授業を通じてのまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	グローバルな時代を生きるための異文化理解入門・日本語教師のための異文化理解とコミュニケーション
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅡ		(NKT16N)
講義名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅡA		(NKT16NA)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース/WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター (株)、東京精電 (株) 歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	表計算ソフトExcelの基本操作・機能を習得し、実務への活用方法を習得する
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、基本操作を身につける 前期でWord・PowerPoint、後期でExcelを学習します
授業時間外の学修	数式の入力、データの処理の方法など授業内容を復習してください。 自分のスマートフォンを使っても学習ができます。
履修上の注意事項等	資格取得の意欲がある学生には、資格試験 (MOS・日商PC検定) の練習もおこないます

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Excelの基本操作ができる	Excelの基礎 起動→画面構成確認 新規作成→入力方法・オートフィル練習→保存
2	効率の良いデータの入力方法 SUM関数で計算ができる	表の作成 表の作成・書式設定・SUM関数
3	オートSUMボタンの5つの関数を使用して基本的な集計ができる	販売実績表を作成し、オートSUMボタンの関数を学習する (合計・平均・数値の個数・最大値・最小値)
4	グラフ作成によりデータを 分かりやすく整理・可視化できる	前年比・割合の計算・縦棒グラフ作成
5	実務で活用できるわかりやすい グラフや表を作成できる	Excel グラフ作成 (グラフの種類と効果・縦棒、円グラフの作成・書式の変更)
6	IF関数と比較演算子を使って 条件判定ができる	IF関数を使った条件判定の入力の仕方、比較演算子の意味と使い方
7	複数条件の判定や 関数のネストを理解できる	3つ以上の条件判定、関数のネストの入力方法
8	RANK.EQ関数の活用、 参照形式の使い分けができる	順位づけ(RANK.EQ関数) Fxボタンよりの関数の挿入・検索の仕方 相対参照と絶対参照のちがいと切り替え方法
9	VLOOKUP関数を活用した 効率的な表検索入力ができる	VLOOKUP関数の構造と使用方法・XLOOKUP関数紹介
10	表検索入力をデータに応じて 適切に使い分けられることができる	VLOOKUP関数とHLOOKUP関数のちがい
11	テーブル機能を使い、データを 管理、視覚的に把握できる	条件付き書式の設定 テーブルの作成と機能の利用方法 並べ替えの設定方法・フィルターの設定と抽出
12	ピボットテーブルを用いて データを集計・分析できる	ピボットテーブルの作成・データの集計の変更方法
13	学習した内容を総合的に 復習し適切に活用できる	復習 テスト範囲 練習問題
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	30時間でマスターOffice2021
参考文献・資料等	各問題集の練習問題、レベルに応じた資格試験の練習問題
備考	担当教員はIT業界での実務経験を活かし、 Microsoft Office製品各種の操作を体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	キャリアデザインⅡ	(NKT16P)	
講義名 (コード)	キャリアデザインⅡA	(NKT16PA)	
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	キャリアコンサルタント、 合同会社ライトハウス・キーパーズ代表	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会&面接会参加 (WEB含む)
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	出席率70%以上の者を期末試験の受験対象者とし、授業への参加態度や学習意欲も評価の対象とする		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	後期に学ぶことを理解し、主体的に取り組むことができるようになる	【オリエンテーション】後期に学ぶこと、2回目よりニュースの発表 【演習】後期学びたいことについてグループワーク、マンダラチャートの記入
2	学生時代に力を入れたことが書けるようになる	【講義】学生時代に力を入れたことについての書き方 【演習】これまでの学生生活で力を入れたことのエピソードを記入
3	自分のスキルについて、文章にすることができるようになる	【講義】好きなこと、できること、得意なことを考える。資格について考える。 【演習】自分のスキルについて記入
4	志望する業界・企業を選択し、調査ができるようになる	【講義】企業研究の進め方、業界・業種と職種 【演習】志望する業界・企業について記入
5	競合他社について理解し、調査ができるようになる	【講義】競合他社とは 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
6	志望動機が記入できるようになる	【講義】志望動機 【演習】競合他社について調べ、発表（2分/人）
7	履歴書の書き方を理解し、記入できるようになる	【講義】記入方法やポイントについて、エントリーシートとは 【演習】志望企業向け履歴書作成、提出
8	履歴書を完成させることができるようになる	【講義】訂正ポイント説明 【演習】志望企業向け履歴書訂正、提出
9	面接の基本を理解することができるようになる	【講義】面接の種類と心構え、面接官の視点、身だしなみ、言葉遣い、 【演習】好印象を与える話し方の練習/個別面談
10	面接の流れを理解することができる	【講義】個人面接、集団面接の流れと対策、オンライン面接について 【演習】学生同士で練習/個別面談
11	実際の面接で聞かれる質問に備えることができるようになる	【講義】実際にあった面接質問例の紹介 【演習】質問例の回答を記入/個別面談
12	面接のテクニックを習得できるようになる①	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
13	面接のテクニックを習得できるようになる②	【講義】面接の種類、面接での評価ポイント 【演習】学生同士で練習、模擬面接チェックシートに沿ってフィードバック
14	後期試験	【試験】選択・記述式(100点)
15	フィードバック、まとめ	【後期試験フィードバック】試験のフィードバック、後期のまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『就職内定基本テキスト』（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	適宜プリント、就活に関するニュースなどの情報シェアを行う
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Listening II	(NKT17D)
講義名 (コード)	Listening II	(NKT17DX)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年 1学年
対象コース	英語キャリアコース / Webマーケティングコース / 観光ホスピタリティコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	The goal of the class is to have a clear and easy understanding of basic English conversation.
全体の内容と概要	We will be using a textbook, audio-book and multimedia to expose the student to a variety of English topics, levels and accents
授業時間外の学修	I don't expect them to do homework but they will have the option of doing research out of class in improve their knowledge. I will provide them time in class to research when needed.
履修上の注意事項等	During lecture and discussion times, they will be expected to leave their phones on top of their desks. During research and study times, they will be allowed to use their smartphones as study tools.

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Learn a self introduction and how to ask questions for understanding	Introductions, Orientation & B.P.U.s
2	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #1 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
3	Can recognize and use verbal contractions	Understanding and Using Contractions, Unit 1 pp.6-9
4	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #2 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
5	Learning the proper usage of prepositions	Prepositional usage and phrases, Unit 2 pp.10-13
6	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #3 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
7	Able to use the verb 'Do' correctly in its tense form	Using What, How and Why Questions and Answering Them, Unit 3 pp.14-17
8	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #4 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
9	Able to use the verb 'Have' correctly in its tense form	Phrases Using Possession and Verb Phrases, Unit 4 pp.18-21
10	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #5 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
11	Able to use the verb 'Get' correctly in its tense form	Sentences Using the Verb 'Get', Unit 5 pp.22-25
12	Can comprehend a conversation and pick out specialized vocabulary	Frog and Toad are Friends' Part #6 Comprehension, Vocabulary & Word Usage
13	Able to use the verb 'Give' correctly in its tense form	Breakdown of Uses for the Verb Phrases of 'Give', Unit 6 pp.26-29 & Test Review
14		Test
15		Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	'Practical Listening Skill for English Communication' by Kaibunsha Publications & 'Frog & Toad Collection' audiobook by Arnold Lobel
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	TOEIC対策Ⅳ	(NKT25D)
講義名 (コード)	TOEIC対策ⅡA	(NKT16JA)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年 2学年
対象コース	英語キャリアコース / Webマーケティングコース / 観光ホスピタリティコース	単位数 2
授業担当者	高野 恵	時間数 30
成績評価教員	高野 恵	講義期間 秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分 必修
実務者教員特記欄		授業形態 講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	TOEIC500点を旨す。
全体の内容と概要	TOEICテストの概要を知り、基礎を復習しながら確実に問題を解けるようにする。
授業時間外の学修	新しい語彙・フレーズの復習をし、会話文などの音読練習をする。
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	リーディングパートの模試問題を解く	リーディングパートの模試問題を解く。
2	Part5の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part5の復習。
3	Part6の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part6の復習。
4	Part7の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part7の復習。
5	Part7の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part7の復習。
6	リスニングパートの模試問題を解く	模試問題Part1の復習。
7	Part1の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part2の復習。
8	Part2の解答と解説が理解できるようになる	過去問題を通して自分の達成度を判断し、これからの勉強法を考える。
9	Part3の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part3の復習。
10	Part3+4の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part3+4の復習。
11	Part4の解答と解説が理解できるようになる	模試問題Part4の復習。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習をする。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テスト F B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	A COMMUNICATIVE APPROACH TO THE TOEIC® L&R TEST Book 2: Intermediate
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	TOEIC対策Ⅳ		(NKT25D)
講義名 (コード)	TOEIC対策ⅡB		(NKT16JB)
対象学科	国際コミュニケーション学科/グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / Webマーケティングコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	松尾 早苗	時間数	30
成績評価教員	松尾 早苗	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	TOEIC600点を達成する
全体の内容と概要	練習問題を繰り返し解きテクニックを身につける
授業時間外の学修	単語復習を繰り返す
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画	

回	到達目標	授業内容
1	前期の内容が身につけていることを確認できる	前期内容確認
2	Part 1 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
3	Part 1 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
4	Part 2 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
5	Part 3 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
6	Part 4 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
7	Part 5 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
8	Part 6 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
9	Part 7 をスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
10	全パートを通してスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
11	全パートを通してスピードアップして解けるようになる	単語～問題の説明～練習問題～答え合わせ
12	テスト前総復習	間違えやすい箇所、定着していない箇所を中心に復習
13	テスト前総復習	間違えやすい箇所、定着していない箇所を中心に復習
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	『TOEIC® L&Rテスト 全パート完全攻略 問題集』
参考文献・資料等	『TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ』（朝日新聞出版）
備考	